

アジア研究図書館の始動： 全学組織としての体制構築に向けて

国立国会図書館関西館

令和3年度アジア情報関係機関懇談会

「コロナ禍におけるアジア研究・教育支援

2022年2月18日

河原 弥生

(東京大学アジア研究図書館研究開発部門)

アジア研究図書館の開館

2020年10月1日
本郷キャンパス
総合図書館4階に開館

「研究図書館」として、
アジア研究と図書館機能を
結合させることを目指す



アジア研究図書館の理念

「東京大学に蓄積されてきたアジア関連資料を集約、再構築し、その知の成り立ちを明らかにすることで、アジアと世界の過去と現在を可視化し、未来を拓く概念を練り上げる場が、アジア研究図書館である。」

「東京大学は、それぞれに複雑で多層的な言語文化を持つアジア諸地域の古今の資料と、それを読み解き分析する文理双方にわたる人材と研究教育機能とを一カ所に有している学術機関として、世界に誇りうる優位性を持っている。この資産を十全にいかし、資料を核に研究の人材と知を結びつけ再編するハブとなり、それを世界の知、次世代の知へとつなぐゲートウェイとなるのがアジア研究図書館である。」

（2017年7月12日、アジア研究図書館部会、抜粋）

アジア研究図書館の沿革

- 2010年 「新図書館構想」 準備部会発足
- 2012年 「新図書館計画」 策定、アジア研究図書館設置計画
- 2013年 総合図書館改修工事開始（～2020年）
- 2014年 アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（U-PARL）設置
- 2018年 アジア研究図書館設置、館長就任
- 2020年 アジア研究図書館開館
- 2021年 アジア研究図書館研究開発部門（RASARL）設置

アジア研究図書館の組織

2021年4月1日～

アジア研究図書館研究開発部門

Research Advancement Section

for the Asian Research Library (RASARL)

「サブジェクト・ライブラリアン」として
3名の教員が配置

2014～2018年度（第1期）

2019～2023年度（第2期）

アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

Uehiro Project for the Asian Research Library (U-PARL)

7名の特任教員、特任研究員が所属



アジア研究図書館の組織

アジア研究図書館研究開発部門

准教授	河原弥生	(中央アジア史)
助教	河崎豊	(古典インド文献学)
助教	鈴木舞	(東アジア考古学)

アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

特任准教授	永井正勝	(古代エジプト言語学)
特任助教	徳原靖浩	(ペルシア文学)
特任研究員	荒木達雄	(中国明代通俗文藝)
特任研究員	澁谷由紀	(ベトナム近現代都市史)
特任研究員	須永恵美子	(パキスタン地域研究)
特任研究員	中尾道子	(韓国朝鮮美術史)
特任研究員	宮本亮一	(古代中央ユーラシア史)

(2021年度)

アジア研究図書館の分類

独自の分類法を採用

<一般書の場合>

地域分類：アジアを5つの地域（とアジア全体）に分類

言語分類：言語（グループ）別に分類

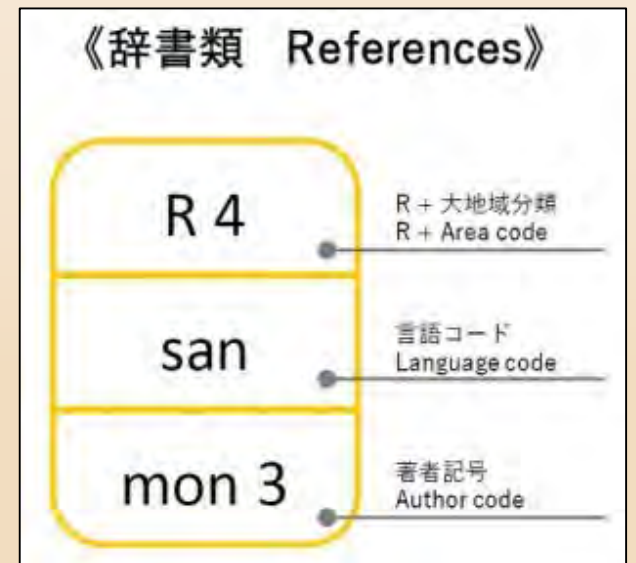
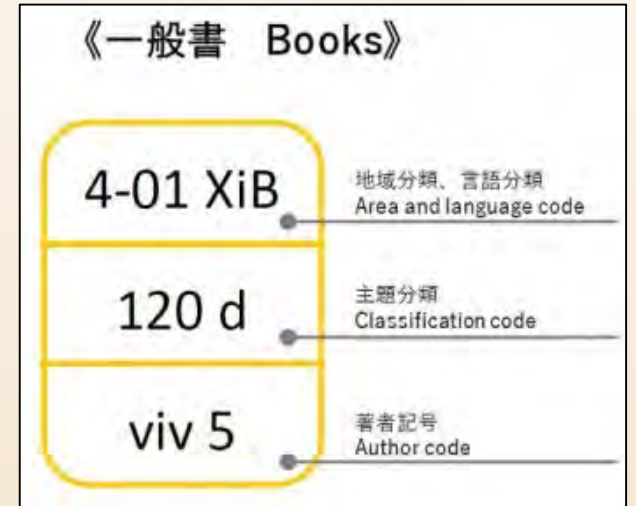
主題分類：およそ日本十進分類法に準じるが、
アジアに関係が深い主題では下位区分あり

<参考文献の場合>

R+ アジアの5つの地域（とアジア全体）

言語コード

著者記号



アジア研究図書館の分類



R2 (参考図書：東アジア)



5 (中央ユーラシア)

アジア研究図書館の分類



1 (東洋文庫)



TRCCS (台湾国家図書館：台湾漢学資源中心)

アジア研究図書館の活動

1. 蔵書構築

- 開架への移管（～2021年度）
約4万冊が移管予定
- 自動書庫への移管（2022年度～）
数十万冊？
- 新規購入（図書、データベース）
東京大学アジア研究図書館資料収集基準（2021年9月）
選書委員会の設置（2021年10月）
- 寄贈の受け入れ

→ 東京大学に蓄積されてきたアジア関連資料を集約、再構築

アジア研究図書館の活動

東京大学アジア研究図書館資料収集基準（2021年9月）抜粋

（基本方針）

アジア研究図書館は、自らの理念に基づき、アジアの理解に資する東アジア、東南アジア、南アジア、中央ユーラシア、西アジアおよびアジア全域に関わる資料を、当該地域の言語で書かれたものからそれ以外の言語で書かれたものに至るまで、広く収集する。なお、上記の資料には、アジア諸地域における日本研究資料を含める。

（収集資料の形態）

アジア研究図書館は、冊子体の図書および逐次刊行物のほかに、デジタル資料、オーディオヴィジュアル資料、マイクロ資料等を必要に応じて適宜収集する。

アジア研究図書館の活動

導入データベース

- Russian Military Intelligence on Asia Online: Secret Prints, 1883-1914 **new!**
- Russian Military Intelligence on Asia Online: Archive Series, 1651-1917 **new!**
- Index Buddhicus Online **new!**
- Bibliography of Asian Studies
- 人民日報
- 申報
- 中国基本古籍庫
- 中華經典古籍庫
- 中華再造善本數據庫
- 唐代墓誌銘數捌庫
- Myanmar Book Centre
- The Times of India
- Encyclopaedia of Islam Online
- Encyclopedia of Women and Islamic Cultures Online

アジア研究図書館の活動

整理中の寄贈資料

- ・ ユネスコ・アジア文化センター識字教育資料
- ・ 高瀬弘一郎氏旧蔵書（キリシタン史）
- ・ 水島司氏旧蔵書（南アジア経済史）
- ・ 柳沢悠氏旧蔵書（南アジア経済史）
- ・ 南アジア地域研究東京大学拠点収集資料（南アジア地域研究）
- ・ 田辺明生氏旧蔵書（インド・オリッサ地方研究）

以上RASARL

- ・ 辛島昇氏旧蔵書（南アジア史）
- ・ 奈良毅氏旧蔵書（ベンガル語、文学）
- ・ 古田元夫氏旧蔵書（ベトナム現代史）
- ・ 桜井由躬雄氏旧蔵書（ベトナム史、社会文化）
- ・ 末廣昭氏旧蔵書（タイ政治・経済・社会）
- ・ 生越直樹氏旧蔵書（韓国朝鮮語学）

以上U-PARL

アジア研究図書館の活動

2. デジタル化

→ 東京大学アジア研究図書館
デジタルコレクション

- 碑帖拓本コレクション
- 水滸伝コレクション
- Digital Resources for Egyptian Studies
- U-PARLセレクトコレクション

東京大学アジア研究図書館デジタルコレクション

HOME 検索 コレクション一覧 資料の解説 利用条件 ヘルプ 東京大学附属図書館デジタルコレクション データセット

東京大学アジア研究図書館デジタルコレクション

作成・提供：東京大学附属図書館アジア研究図書館上質倫理財団寄付研究部門 (U-PARL)

閲覧

お知らせ

- 2020年1月16日：これまで「東京大学附属図書館アジア研究図書館上質倫理財団寄付研究部門 U-PARL漢籍・碑帖拓本資料」として公開していたサイトをリニューアルし、新規公開コンテンツも加えて、「アジア研究図書館デジタルコレクション」を公開しました。これまでのサイトにはこちらからアクセスいただけます。

コレクション一覧

- 碑帖拓本コレクション
- 水滸伝コレクション
- U-PARLセレクトコレクション
- Digital Resources for Egyptian Studies

Powered by Omeka S

アジア研究図書館の活動

3. アウトリーチ活動

アジア資料目録作成ワークショップ

アジア諸言語資料の書誌データ作成に必要な様々な知識やツール、ノウハウを共有することを目的としたワークショップ。2021年度は現代ウイグル語編を開催。

→ アジア関係の他館との協力体制構築




U-PARL WORKSHOP

アジア資料目録作成ワークショップ 現代ウイグル語編

外国語資料の書誌データ作成には、目録規則やコーディングマニュアルの知識に加え、様々な知識やツールが必要ですが、目録作成の現場では、人材の流動化や雇用形態の多様化が進む中で、そのノウハウをいかに蓄積・継承していくかが課題となっています。

U-PARLでは、組織や機関の枠を越えて多言語目録作成のノウハウを共有することを目指し、アジア言語資料の目録作成ワークショップを開催してきました。第5回は現代ウイグル語資料の目録作成を行います。

図書館業務で現地語資料を扱う予定の方を主な対象としますが、語学力は問いません。広くアジア資料の整理の問題に関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

【プログラム】

- 14:00 「アジア資料整理の現場から」
徳原靖浩（東京大学附属図書館アジア研究図書館上展倫理財団寄付研究部門特任助教）
- 14:10 「現代ウイグル語資料の概要と目録作成」
河原弥生（東京大学附属図書館アジア研究図書館研究開発部門准教授）
- 15:00 質疑応答およびアジア資料の整理、収集等について意見交換
- 16:00 終了

U-PARLのウェブサイトから
事前にお申込み下さい。



【日時】2021年8月4日（水）14:00～16:00
【会場】ZOOMによるオンライン開催

参加無料・要事前申し込み（ZOOMによるオンライン開催） <http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/>

主催：東京大学附属図書館アジア研究図書館上展倫理財団寄付研究部門（U-PARL）
協働型アジア研究プロジェクト「アジア情報資源の組織化に関する研究：目録作成マニュアルの作成」
（代表：徳原靖浩）
協力：東京大学附属図書館アジア研究図書館研究開発部門（RASARL）

アジア研究図書館の活動

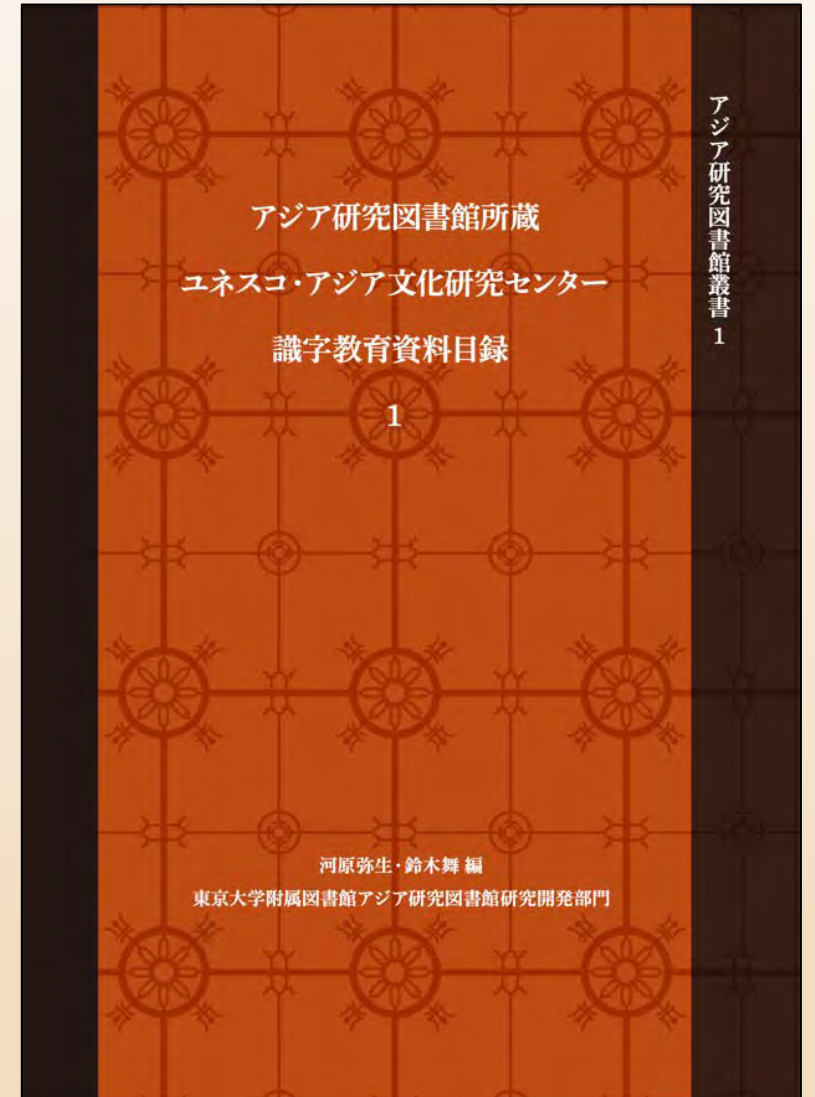
出版計画

「アジア研究図書館叢書」シリーズ刊行

1冊目：

『アジア研究図書館所蔵
ユネスコ・アジア文化研究センター
識字教育資料目録 1』

(見本)



アジア研究図書館の活動

4. 学生との協働（オンキャンパスジョブの利用）

カウンタースタッフ

アジア研究分野の大学院生（博士課程）

→ 専門的レファレンスの提供

寄贈資料整理

大学院生（修士課程・博士課程）

→ アジア諸言語に関する専門知識

ユネスコ・アジア文化センター識字教育資料



アジア研究図書館の活動

コロナ禍における活動

- ・ 開架への移管の終了（・分析）
- ・ データベース資料の導入
- ・ 雇用による学生育成（・支援）

課題

- ・ 研究支援、レファレンス（入国・入構・入館制限）
- ・ 海外からの資料購入
- ・ 海外機関との交流、協定

アジア研究図書館の課題

全学組織としての運営

- ・ 各（教育・研究）部局との蔵書構築の調整
- ・ 各部局図書館・室（特に理系部局）からの移管調整
- ・ 寄贈コレクションの受入（マンパワーの不足、偏り）
- ・ 研究支援、レファレンスのありかた（〃）

→ 「資料を核に研究の人材と知を結びつけ再編するハブとなり、それを世界の知、次世代の知へとつなぐ」